

静青神奈川



大本山光明寺法主柴田哲彦台下御染筆



Hello! なむちゃん ©浄土宗／しきしげゆき1993

24期会長挨拶	2
横井教区長・関プロ理事長挨拶	3
45周年記念事業報告、他	4
各組会長紹介	6
スポーツ大会、てらつど報告、他	8
平成30年度事業報告	10
卒業・新入会員挨拶、全静青報告	11
平成31年度事業計画	12

第24期テーマ

い ち ご い ち え

「一期一会」

～いま共に励む～

第22代会長 三浦康志

い ち ご い ち え

「一期一会」

い ま 共 に 励 む

第二十四期浄土宗神奈川教区青年会
第二十二代会長 三浦康志



英先生による詠唱勉強会、税理士である中郡組富田尚敬会員による税務講習会（懇親会にてダーツ大会）を開催。メーリングリスト規程・プライバシーポリシーも新たに策定いたしました。

さらに、神淨青創立四十五周年の節目の年を迎え、記念事業として会員手帳の発行、会員の親睦を深めるカート大会を行いました。その後に開催した懇親会には、神淨青顧問・第一代会長でもある大本山光明寺御法主柴田哲彦台下をはじめ、歴代会長並びに卒業会員の諸先輩方の御臨席を賜り、和やかに懇親を図ることができました。

みなさまには各事業へ積極的にご参加をいただき、区内諸大徳には多大なるご支援を賜り、また会員のみなさまには各事業へ積極的にご参加をいただき、心より厚く御礼申し上げます。神淨青の歴代会長をはじめ、多くの卒業会員のみなさまの努力と熱意によつて培われた神淨青の歴史と伝統を、引き続き全般全靈を込めしつかりと継承してまいります。

今期は、「一期一会 い ま 共 に 励 む」を活動テーマとして、「一生に一度だ」という思いを込めて、物事に対して誠心誠意、真剣に取り組むべく、事業を進めております。

今年度は恒例事業であります大本山光明寺開山忌・十夜前清掃奉仕、十夜托鉢、神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会、忘年会に加え、昨年度も行つた鎌倉高徳院さまでの托鉢、神奈川教区吉水講詠唱大会参加のための詠唱勉強会、また新たに家族懇親会、御忌別時念仏会と兼ねての六時礼讃会、保険講習会を開催いたします。そして、例年三月に行つている「寺集うてらつど」は光明寺さま大殿修復前の九月二十八日（土）に同寺を会場として第七回を開



また、前会長である小俣関ブロ净青理事長が常務理事を務める、全国浄土宗青年会が今年度で五十周年を迎えます。今年度も、関ブロ净青・全净青の事業にも神淨青会員百名、積極的に参加をしたいと思っております。

引き続き、教区内諸大徳の净青活動へのご理解ご協力と、会員のみなさまの各事業への一層のご参加をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

合掌



淨青会員の輝かしい姿勢

神奈川教区教区長 横井 隆彦 上人

淨青会員のみなさまには、日頃教区の諸事業でまた関連団体のために、とにかくご尽力をいただいております。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

三浦会長のもと一丸となつて進んでいるその姿勢に心から敬意を表します。

「はい、姿勢を正せ」。

もう五十年くらい前になりますが、私が中学生の時、数学の教師が授業の始まるときに必ず口にした言葉です。そんでもいたそうで、精悍な感じの人でした。私たち生徒の姿勢の乱れを正すことが授業を始める時の、また続けるための条件であったのです。

私たちが、日常生活で良い姿勢を保ち続けるのはいつでしようか。おそらく、日常勤行や法務のときではないでしょうか。自然と背筋が伸びてしまふことがあります。私は、毎日しっかりと姿勢を正し続けることができる」と姿勢を正し続けることができる」ととても感謝しています。

法然上人の『選択集』第七章段の表題には「弥陀の光明、餘行の者を照らさず、ただ念佛の行者を攝取したまふの文」とあり、阿弥陀仏の光、念佛者のいたぐ利益が説かれています。すなわち、私たちは功徳を受ける身であることも明らかです。

法然上人の『選択集』第七章段の表題には「弥陀の光明、餘行の者を照らさず、ただ念佛の行者を攝取したまふの文」とあり、阿弥陀仏の光、念佛者のいたぐ利益が説かれています。すなわち、私たちは功徳を受ける身であることも明らかです。

第二十四期関ブロッブ青も、六月に開催された総会を経て、二年目を迎える

ことができました。今期関ブロッブ青は、その活動テーマを「向うただひとつ」と掲げ、今年度は約六百二十名の会員と共に活動をして参ります。活動会では、昨年度、大本山光明寺さまを会場に、関東圏内淨青会員一同が結集し、柴田哲彦大僧正台下の御垂示を賜り、関ブロッブ青としては最後の現存

大殿にての別時念佛会を勤めることもできました。

今年度は九月に東京教区九品仏淨真寺さまを、翌年一月には大本山増上寺さまを会場に開催いたします。その他、研修会並びにスポーツ大会等、関ブロッブ青としての活動は数多くありますが、関東圏内各組淨青から組織さ



ご挨拶

第二十四期 関東ブロッブ
淨土宗青年会理事長

小俣慶樹 上人

平素より、関東ブロッブ淨土宗青年会（以下、関ブロッブ青）の活動に際し、（以下、全淨青）とのパイプ的な役割も担っています。全淨青から発信される様々な情報を一早く各教区淨青に発信し、関ブロッブ内各教区淨青の活動にも心より御礼を申し上げます。

寄与できるよう、今年度も連携を取り合いで運営して参ります。

また、今年度は全淨青設立五十周年を迎える良縁の年度であります。

年を迎える良縁の年度であります。

大会当日の令和二年三月十一日、十二日の両日には、記念大会として總本山知恩院並びに京都大本山及び淨土宗寺院にて、別時、行脚、記念法要、記念講演等が企画されています。諸大徳並びに会員各位のお力添えを懇願し、來たる五十周年記念大会を無事迎えられますよう努めて参ります。

残りの一年、神奈川淨青から送り出

していただいた思いを決して忘れず、任

期満了まで全力をもって職責を全う

いたします。今年度もより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、ここにご挨拶とさせていただきます。

合掌

挨拶とさせていただきます。

合掌

浄土宗神奈川教区青年会 四十五周年記念事業

カート大会

報告 一真成

去る平成三十年十二月五日（水）、浄土宗神奈川教区青年会（以下神淨青）は、創設四十五周年の記念事業として、会長三浦康志上人の発案のもと、平塚市にあるカート場、「F・ドリーム平塚」にてカート大会を行いました。現役会員四十六名、OB会員四名の方々が集まり、盛大にカートレース大会が開催されました。

まず始めに、三浦康志会長の開会宣言からはじめり、「F・ドリーム平塚」代表取締役社長小泉光一郎氏より競技にあたつてのルール説明、注意点等のお話を頂きました。このカート場では、免許やライセンスなどは必要とせず、一人で乗ることのできるカートもあるため、大人だけではなく親子そろって楽しめる施設となっています。

競技にあたり、まずチーム編成のための予選走行を行いました。初めてカートを運転する会員が多いなか、本番さながらの様相を呈していました。

本番は、予選走行の成績を踏まえてチームが編成され、八チームに分かれてのタイムアタックで競技が進められました。予選走行で慣れたのか、みんな予選でのタイムを大幅に上回り、白熱したレース展開となりました。

今までにない試みだった今回の記念事業でしたが、事故や怪我をする人も出ず、みんなが笑顔で楽しく、今まで以上に会員同士の絆を深めることができました。

懇親会（兼 神淨青忘年会）

報告 戸松良明

去る平成三十年十二月五日（水）、日中に開催されたカート大会に引き続き、神淨青臨時総会が開催され、その後、忘年会を兼ねての神淨青創設四十五周年の懇親会を平塚市のグランドホテル神奈中にて開催をいたしました。臨時総会には会員52名が出席し、議案として提出された神淨青マーリングリスト規程、プライバシー・ポリシーなどの諸規程が承認されました。

引き続きの懇親会（兼忘年会）においては、当会第二代会長でもある大本山光明寺御法主柴田哲彦台下をはじめ、神淨青の歴代会長の諸上人、神淨青OB会員の諸上人、二十五名の御臨席をたまわり、総勢七十七名の出席となりました。

御出席をいただきました神淨青歴代会長の諸上人よりそれぞれに祝辞、叱咤激励を頂戴し、また神淨青OB会員としてご参加くださった諸上人とも大いに懇親を深めることができました。現役会員としては、諸先輩からの思い出話などをうかがい、あらためて神淨青の歴史と先輩からの熱い思いに身が引き締まり、有意義な時間を過ごすことができました。



神奈川教区吉水講詠唱大会

報告 後藤佳孝



この度、神淨青は神奈川教区吉水講詠唱大会に参加することとなり、詠唱大会参加にあたり三浦正英先生（三浦組光照寺住職）を講師にお招きして、詠唱の勉強会を開催いたしました。

日々、唱えているお経とは違い、法然上人御作となる詠歌や浄土宗の中行事などに唱えられる和讃は、内容もわかりやすく、なじみやすいため、檀信徒へ教化する布教の一助として大変有用であると感じました。そして何よりみんなでお唱えすることが大切であり、お念佛と同じように心を一つにできるものであると痛感いたしました。

詠唱大会当日、檀信徒のみなさまが集まり、日々多くの拍手とともに、今後は若い僧侶に導いてもらいたいというお言葉を頂戴いたしました。

この度、神淨青は神奈川教区吉水講詠唱大会に参加することとなり、詠唱大会参加にあたり三浦正英先生（三浦組光照寺住職）を講師にお招きして、詠唱の勉強会を開催いたしました。

終戦直後の混乱期のなか、心の拠り所として檀信徒教化のために組織化された浄土宗吉水流詠唱講は、お念佛をお唱えし易くするための「お念佛の助業」ともいわれています。

税務講習会

報告 石井康順



画してくれた神淨青会員の方もあり、大いに盛り上がり、勉強と懇親に充実した一日となりました。



関ブロ別時念佛会

報告 関ブロ净青事務局次長 竹石光流

平成三十一年一月十一日(月)、本厚木にある「アミューズ」において税務講習会を開催いたしました。講師には神淨青会員もあり、税理士の中郡組法雲寺の富田尚敬会員にお願いをいたしました。

講習会では、宗教法人の現状を確認したうえで、宗教法人の税務やそのシステムを分かりやすく講義していました。参加者はみな真剣に受講しておりました。

ひととおりの講義を終えた後は質疑応答の時間が設けられ、寺院運営のなかで税務や会計・経理に関して、会員が日頃気になっていることについて質問も多く寄せられました。それに対して富田会員からは「一つ丁寧にお答えいただき、実のある時間となりました。

講習会終了後は、参加者で懇親会（ダーツ大会）が行われました。企

去る平成三十一年一月十七日（木）、関東ブロック浄土宗青年会別時念佛会を大本山光明寺を会場として開催しました。関東ブロック各教区浄青より計九十八名の会員の参加をいただき、無事円成することができました。

今期関ブロでは、小俣理事長より「大殿修繕工事の前に、ぜひとも光明寺において関ブロ別時を行いたい」との意向があり、開催に向け準備を進めてまいりました。その結果、光明寺さまにご快諾をいただき実現する運びとなりました。

別時を勤める前に、開山堂において柴田哲彦台下より青年僧へ向けての貴重な御垂示を賜りました。その後、大殿において関ブロ会員諸師とともにお念佛をお称えし、元祖さまの遺徳を讃える、またとない勝縁に恵まれることができました。

当日、諸事にわたりご協力をいただいた三浦康志会長をはじめ、神淨青執行部のみなさま、参加いただいた神淨青会員のみなさまにはあらためて御礼申し上げます。

各組紹介



京浜組



会長
野呂 幸裕

京浜組青年会会长、教安寺の野呂幸裕です。前年度は災害に対する研修を行い、「大規模災害から学ぶ寺院の備え」を浄土宗災害復興事務局宮林雄彦事務局長より教授をいただき心構えや覚悟を学ぶ機会となりました。

本年は、浄土宗の躰頭宣言にもある「社会に慈しみを世界に共生を」へスポットを当て、寺院の地域社会への関わりや可能性を探求する研修を行いたいと考えております。ここ数年、当山は障がい者と関わるご縁をいただき、微力な

がら支援をさせていただきましたが、新たに月曜日～金曜日における宗教施設活用に着目し、地域社会への共生力の可能性から障がい者支援のNPO法人と共に「就労継続支援B型作業所」を開設いたしました。

その関係を活かし、青年会では日に見える障がい、そうではない障がいの抱える問題やその生活、雇用の労働対価やどう社会への架け橋を繋げて行けるなど、共に作業所で仕事を体験し、対話をして現場からより多くの気付きと学びを得ようと考えております。

社会にはもっと光に照らされるべき世界があり、そこへ青年僧侶が飛び込み、現在起きている問題と今後の寺院があるべき地域的役割を含めて共生力の可能性を模索してまいります。



会長
小川 真弘

てお力添えをいただきます。また、新人会員として大運寺の里見善江会員を迎えて、総勢十七名で活動をしてまいります。

今年度の事業計画ですが、大誓寺の塩澤智彦先生にご講義をお願いし、年三回の合同法式研修会を継続して行う予定です。また、一泊二日で国内の靈場を巡る団体参拝旅行や、和食のティブルマナーを学ぶ研修会を計画しております。年度末には今期二年間の研修会内容をまとめた事業報告新聞を発行する予定であります。

淨青事業でのさまざまな体験を通して、会員相互の親睦を深め、より一層の研鑽を積んでいきたいと思ふ

ます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度をもちまして法安寺の戸谷義丈上人が神淨青をご卒業されましたが、港南組淨青は副会長として残り任期一年を現役会員とし



港南組



会長
香川 陽祐

昨年度より高座組淨土宗青年会会长を務めております香川陽祐です。

昨年度は会員減少のなか、取り組みとして「OBのみなさまのご参加」と「他組淨青との連携」を推進するべく活動を行ってまいりました。

単独事業ではOBのみなさまの参加をいたしました現役会員・賛助会員のみなさまには厚く御礼申し上げます。

昨年度をもちまして法安寺の戸谷義丈上人が神淨青をご卒業されましたが、港南組淨青は副会長として残り任期一年を現役会員とし



高座組



会長
香川 陽祐

の事業への積極的な参加を行い、淨青スポーツ大会においては優勝という成績をおさめることができました。

今年度の事業としましては、三部経輪読、布教勉強会、家族親睦会、海外研修を行い、交流事業として港南組淨青との合同法式研修、中郡組淨青とのスポーツ交流会などの事業を展開し、OBのみなさまや他組の方々とも交流を行っています。また、引き続き淨青の諸行事を開催するべく活動を行ってまいりました。

昨年度は会員減少のなか、取り組みとして「OBのみなさまのご参加」と「他組淨青との連携」を推進するべく活動を行ってまいりました。

単独事業ではOBのみなさまの参加をいたしました現役会員・賛助会員のみなさまには厚く御礼申し上げます。

昨年度をもちまして法安寺の戸谷義丈上人が神淨青をご卒業されましたが、港南組淨青は副会長として残り任期一年を現役会員とし

港北組青年会会长、大蓮寺の大橋雄人です。港北淨青は前年度と会員の増減はなく、今年度も十一名で活動してまいります。

昨年度、港北淨青では例年どおり年四回の研修会を開催いたしました。講師には大正大学非常勤講師であり、浄土宗総合研究所常勤嘱託研究員である工藤量導上人（青森教区本覚寺副住職）をお招きし、現在、研究所で行われている現代問題の研究について、最新の研究状況をお話しいただきました。

今年度は、四回の研修会のうち三回を大正大



会長
大橋 雄人

学非常勤講師、淨青会員のみなさまにも講師にお迎えし、仏教学の基礎についてお話しをいただく予定となつております。残りの一回は千葉県松戸にある翠雲堂の工場見学を企画、調整しております。神淨青会員のみなさまにも広くご参加いただき、あらためてご案内させていただきます。

また、昨年（2018年）11月に当会の横井隆昌上人がご自坊・宗泉寺阿弥陀如来ご宝前にて華燈の典を挙げられました。ご夫婦そろってご住職を支え、寺門興隆に務められることを祈念いたします。



港北組



神淨青

鎌倉組



会長
鈴木 顕祥

鎌倉淨青会長を務めています。傳福寺の鈴木顕祥です。

昨年度は新たな研修として京浜組の石田一裕先生を講師にお迎えし、インド仏教等の基礎を学ばせていただきました。丁寧にご教授いただきました。とても有意義な研修となりました。また、大きなところではスポーツ大会を担当させていただきました。フットサルという初めての試みでしたが、多くの皆さまのご参加をいただき会員相互の良い交流ができました。

今年度も昨年同様に十四名にて活動してまいります。事業は引き続き石田一裕先生による研修会を開催いたします。継続事業では鎌倉高

徳院までの歳末助け合い托鉢を三浦組と合同で行います。また、港南組との法式研修会を年末に開催する予定です。そして、2月には研修旅行を考えております。行先はまだ未定ですが、鎌倉淨青以外の方にも広くご参加を募りましたいと思っておりますので、改めてお知らせをさせていただきます。

鎌倉淨青は今後大幅に会員の減少が見込まれますが、その時々で何が必要で何を求められるのかをしっかりと考え、会員一同協力して進んでまいります。

三浦会長期も残すところになりますが、鎌倉淨青としても行事等、積極的に参加し更なる研鑽に励んでまいりたいと思います。

今期も引き続きよろしくお願い申し上げます。



中郡組



会長
小川 勉道

前年度に引き続きまして、中郡組淨青の会長を務めさせていただきます大松寺 小川勉道です。よろしくお願いいたします。

中郡組淨青では昨年賛助会員制度が始まっています。

平成三十一年度の活動としては、五月に比叡山黒谷青龍寺に於いて「昼夜の不斷念佛六時礼讚会」、八月に家族親睦会、十二月に江島会員による勉強会、また翌年一月に国内外もしくは海外研修旅行を計画しております。

今年度も中郡組淨青は会員増減なく十三名で活動してまいります。残りの任期一年、一つ一つのことを大切に精一杯務めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

平成三十一年度の事業報告といたしましては、神淨青会長西光寺 三浦康志上人を講師にお迎えし、葬儀式を中心に法式作法の基本を見直す勉強会、映画『ダライ・ラマー4世』の鑑賞、意見交換会を行いました。また、前々期からの継続事業となっております靈山寺 江島尚俊会



小田原組



会長
皆川演亮

本年、小田原組は総勢十一名で活動をしてまいります。

昨年度で石川琢道上人がご卒業となりました。また、今年一月には戸松良明会員がご結婚されました。お二人には心からお喜び申し上げます。

昨年度は七月、十一月に千葉教区常行院の郡嶋昭示上人を講師にお迎えし、「二祖聖光上人を学ぶ」勉強会、九月には二回にわたり三浦組光照寺の二浦正順上人を講師にお迎えし、「双盤念佛を学ぶ」勉強会として六字詠念佛における鉢(れい)などの打ち方をご教示いただき、研

鑽を積みました。その他、七月に親睦会、十一月に歳末助け合い托鉢、箱根にて「泊一日での忘年会を開催いたしました。

今年度の事業計画は、六月に昨年に続き常行院の郡嶋昭示上人を講師にお迎えし、「蓮住持訓を学ぶ」勉強会並びに懇親会、十一月に当会会員の円宗寺大場得法上人を講師として「梵字を学ぶ・書道」勉強会、十二月に歳末助け合い托鉢・忘年会、一月には昨年度勉強をいたしました「二祖聖光上人のご遺跡を訪ねる」研修旅行を計画しております。

毎年、会員数は少しづつ減ってゆく傾向ですが、本年も会員・OB会員のご協力をいただきながらと努めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



三浦組



会長
三浦 正順

青においては、本年度、八年ぶりに教区長杯スポーツ交流大会の運営を担当させていただきます。しっかりと準備を進めて臨んでまいりたいと思っておりますので、みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

昨年に引き続き三浦組青年会会長を務めます三浦正順です。

昨年の三浦組の事業報告としましては、七月に法式研修会として書式の研修をいたしました。九月には小田原組主催の六字詠念佛の研修に参加させていただきました。十二月には鎌倉組と合同での高徳院までの托鉢、二月には、ボイストレーニング講習を行いました。

本年度は、昨年に引き続き、法式研修会、また二月には研修旅行を予定しております。県淨

員長として出向しております。九月開催に向けて準備を進めておりますので、三浦組といたしましても盛り上げていきます。



教区長杯争奪スポーツ交流大会

報告 鈴木顕祥

去る平成三十年九月二十八日、横須賀市の日産追浜体育館におきまして第三十六回教区長杯争奪スポーツ交流大会を鎌倉組担当のもと開催させていただきました。

競技内容については天候に左右されず、体育館にて少人数でもできるスポーツといふところから、当初より「ソフトサル」を考えておりました。しかしながら、公式のルールやボールを使うと危険が伴うということで、ルールを簡略に変更し、さらに柔らかいボールを使用する「ソフトフットサル」という初めての試みとなりました。

当日は富田教化団長をはじめ、OBの先輩方、多くの現役会員のみなさまがたにご参加いただきました。開会式では富田教化団長にご挨拶を頂戴し、始球式はソフトボールの時とは違い、ボールを蹴つていただぐ形式で、新鮮な印象となりました。

試合が始まるまでは、どのような展開になるのか多少の不安もありましたが、大いに盛り上がり、OB会員、現役会員が一緒に汗を流し、体育館内をいっぱいに躍動する光景には感動いたしました。白熱の試合が続いた結果、優勝トロフィーは高座組の手に渡りました。



懇親会では大本山光明寺御法主柴田哲彦台下をはじめ、横井教区長、富田教化団長、歴代会長や諸先輩方にご臨席賜り、おかげさまで和やかで賑やかな時間を過ごさせていただきました。

三十六回と長きに渡つて続けられる教区長杯、我々青年僧には研修や実践も大切なことです。こうして多くのみなさまと時間を共有し、共に体を動かし汗を流すことも良い交流の場となることを実感いたしました。

また、一日を通じていろいろと至らないところ、ご迷惑をおかけしたこともあるかと思いますが、みなさまのご理解ご協力により無事につとめることができました。改めて、関係諸大徳各位、当日ご参加いただきましたみなさまに心より御礼申し上げます。誠に有難うございました。



第六回 寺集～てらつど～

報告 小松崎成淳

本年三月三十日(土)、第六回「寺集～てらつど～」を開催できましたこと厚く御礼申し上げます。

天気予報と桜の開花が心配でしたが、当日は天候に恵まれ、約三〇〇人の方がご来場くださいました。

大殿では、フラパキピカさんのフラダンス、早稲田大学津軽三味線サークルの三津巴さんの演奏、ソプラノ歌手の雨谷麻世さんや、僧侶バンドの沙門さん、シンガーオブREN A & 菅原優也さんのライブ、落語家林家たま平さんによるお演りいただき、ファイナーレとして来場者と青年僧侶が一体となって、数珠繰り念佛法要を行いました。

開山堂では、写経・写仏の体験、光明寺主催による寺宝特別展が同時開催されました。その他、各所においては、衣帯体験コーナー、諸堂参拝ツアーや、琵琶の弾き語りやエッセイ書道、青年僧とお話しコーナーやチャリティーバザー、甘酒の販売やてつど限定スタンプなどを催しました。今回は境内に飲食店エリアと物販店エリアの区切りを設けました。飲食店エリアではOB会員によるDJの演出もありにぎやかに、物販エリアではシンゲルファミリー支援団体ハートフルファミリーさんの協力もあって和やかな空間になりました。また浄土宗公式キャラクターなむちゃんも登場し、子どもたちと記念写真撮影などもいたしました。

なによりも委員をはじめ、当日の現役会員スタッフが、それぞれの持ち場を理解し、責任を持つ運営していただいたことに感謝いたします。

第二回の開催から「集まろう。繋がろう。」をテーマに取り組んできた「てらつど」は、今回も多くの方に足を運んでも

らい、お寺や私たち僧侶を身近に感じていたいことができたと思っております。

さて、光明寺大殿の改築工事もあり、第七回となる「てらつど」は令和元年九月二十八日(土)に開催することが決定し、すでに準備を進めております。より多くの方々に「てらつど」を通じて人々のつながり、また地域活性化を意識してもらえばと考えております。净青会員におかれましてはぜひ「てらつど」に層ごとの協力をお願い申し上げます。



清掃奉仕

平成三十年六月二十九日（金）、十月四日（木）、大本山光明寺において恒例である開山忌前、十夜前の清掃奉仕を神奈川教区寺庭婦人会と合同で行いました。両日とも半袖でも暑いくらいの気温の中、多くの会員が参加しました。

はじめは、光明寺開山良忠上人の御廟から天照山駐車場まで掃き掃除をしました。天照山駐車場は枝葉が特に伸びる場所ですが、事前に光明寺の職員の方が枝葉を刈り込んでくださったおかげで、スムーズに掃き取ることができました。

後半は材木座海岸に移動して砂浜のゴミ拾いをしました。とくに開山忌前の清掃では、夏期僧堂の際に子供たちがゴミを踏んでケガをしないように念入りに行いました。



清掃奉仕が終わった後に、寺庭婦人会の方が作ってくださったカレーをいただきました。汗をかきながら掃除をした後のカレーはいつもよりも美味しく感じられました。

光明寺でさまざまなことを学び、他の子どもたちや会員と一緒に精一杯楽しむことで、成長したことを感じられる三日間だったのでないですか。



『ねんぶつ日記』

『ねんぶつ日記』は、檀信徒のみなさまに念佛相続によるこびを目に見える形で実感してもらうために、第二十三期神淨青（小俣会長期）において作成されたA6判十六ページの冊子です。

最初に決めた各自の目標にしたがってそれを日々達成することに経文（四誓偈）をそついただきます。また、浄土宗信徒としての基礎知識や法話なども付記しています。

平成二十九年度の初版作成以来増刷を重ね、現在、約二万五千冊のび注文をいただき、神淨青会員のみならず、教区内内外から多くの浄土宗教師のみなさまの檀信徒教化のためにご活用いただいております。

お施餓鬼、お十夜などの領布品として、またお参りの供物としてお配りするなど、お念佛の結縁としていただければ幸いです。

新旧役員歓送迎会

平成三十年六月十一日（月）横浜崎陽軒本店に於いて、神淨青第二十三期・第二十四期の新樹会長期より第二十四期三浦康志会長へと役員の引継ぎが行われました。

初代会長平野仁司上人、大本山光明寺執事

長・第4代会長里見嘉嗣上人、神奈川教区教

区長横井隆彦上人、神奈川教区教化団長富田

浩雅上人をはじめ、多くの御来賓、歴代会長の

諸先輩方にご臨席を頂き、ご祝辞激励のお言葉

を頂戴いたしました。

二年の任期を終え、関ブロ理事長として新たな歩みをはじめた小俣会長へ感謝の意をこめて、三浦新会長より花束の贈呈が行われました。

また「寺集（てらつど）」開催にあたり、実行委員長の小松崎成淳上人より「青年会主催のイベントとして最後のてらつどを盛り上げていきます」とおもい

ました。普段お寺で聞いているお経ですが、自分で読むことを子供たちはどう感じたでしょうか。難しい漢字ばかりで苦戦しながらも、会員に負けないくらい大きな声でお唱えしていました。

夜のレクリエーションでは、割りばしや紐など身近な道具を使った遊びで盛り上がりました。ネットやスマホなどを使わずに遊ぶことは、今の子供たちにとってとても貴重な体験だとおもいま



「しおり」との挨拶もありました。

終始和やかな雰囲気のなか、活動テーマとして「一期会（いま共に励む）」を掲げる三浦会長のもと一致団結すべく気が引き締まる会となりました。

『ねんぶつ日記』20冊1セット

1,000円（送料別途）

ご注文はFAX、メール、または神淨青HP専用フォームより

FAX 0467-24-5665（神奈川教区教務所内）

メール nenbutu.nikki@gmail.com



浄土宗神奈川教区青年会 平成30年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	10日(火・友引)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	27日(金・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	10日(木・先負)	詠唱勉強会	大本山光明寺
5月	22日(火・大安)	神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
5月	31日(木・友引)	第45回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 長野教区	松本市ホテルブエナビスタ
6月	11日(月・先勝)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	横浜 崎陽軒本店
6月	29日(金・友引)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	1日(日・仏滅)	機関紙『浄青神奈川』第44号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	25日(水)~27日(金)	関東教化センター第70回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	30日(木・友引)	全浄第14回全国大会 担当:北陸ブロック	ホテル金沢
9月	11日(火・先負)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	28日(金・友引)	神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会 担当:鎌倉組	日産追浜工場体育館・セントラルホテル
10月	4日(木・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(日・友引)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	26日(金・友引)	関プロスポーツ交流大会練習会	海老名運動公園野球場
11月	1日(木・友引)	関プロスポーツ交流大会 担当:茨城教区	土浦市民運動広場・オーラフロンティアホテルつば
11月	12日(月・友引)	第6回理事会・托鉢	大本山光明寺・高徳院
11月	15日(木・大安)	全浄別時念仏会	大本山百万遍知恩寺
12月	5日(水・先勝)	神浄青45周年記念事業・臨時総会・忘年会	F.ドリーム平塚・グランドホテル神奈中 平塚
1月	17日(木・大安)	関プロ別時念仏会	大本山光明寺
1月	24日(木・赤口)	第7回理事会・御忌別時念仏会	大本山光明寺
2月	5日(火・先勝)	全浄第44回 総合研修会	大本山増上寺
2月	11日(月・先勝)	税務講習会・懇親会(ダーツ大会)	本厚木 アミューズメント・プラッキーズ
3月	1日(金・先勝)	創立45周年記念『会員手帳』発行	浄土宗神奈川教区青年会
3月	6日(水・赤口)	第8回理事会	大本山光明寺
3月	30日(土・先勝)	寺集~てらつど~	大本山光明寺

平成30年度 浄土宗神奈川教区青年会特別会計 災害救援基金回収報告

京浜組	¥ 33,802
港北組	¥ 65,000
港南組	¥ 68,524
高座組	¥ 126,034
鎌倉組	¥ 235,861
三浦組	¥ 47,960
中郡組	¥ 38,000
小田原組	¥ 75,365
各組合計	¥ 690,546

以上、各組より净財をお預かりいたしました。
みなさまのご協力を賜り感謝御礼申し上げます。

平成三十一年十月十四日に大本山光明寺十夜法要に合わせた恒例の托鉢を、また平成三十年十一月十二日には高徳院さまを会場として行いました。両日とも天候に恵まれ、多くのご参拝のみなさまが御協力くださいました。

三浦会長は本期の神淨青の活動テーマとして「期会」を掲げております。托鉢は、僧侶にとっても浄財をお預けくださった方々にどうでもまさに「期会」、一生に一度の出会いなのではないでしょうか。

今回、光明寺十夜法要および高徳院さまでの托鉢でお預かりした浄財は八万八千九百六十五円になります。みなさまからの想いとともに然るべき時に緊急災害用会計より拠出させていただきます。

当然のことですが、会場としてお願いしている大本山光明寺さま、高徳院さま、ならびにご喜捨いただいたみなさまのご協力により托鉢募金が行えています。あらためてご協力いたいたみなさま、関係各所に感謝を申し上げ、引き続きのご協力をいただけますよう、なにぞよろしくお願ひいたします。



十夜托鉢、高徳院托鉢報告

卒業会員挨拶



港南組 法安寺 戸谷 義丈

多くの皆さまとのご縁を頂戴いたしました。多くの貴重な体験を頂戴いたしました。ありがとうございました。

今後、より一層絵画制作に精進してまいります。

自行、化他、和合の理念のもと神淨青のみなさまの益々のご活躍を祈念申し上げます。



高座組 蓮光寺 安藤 尚人

浄土宗奈川教区青年会に参加させていただいておりましたが、出席率が低く、多くのみなさまに迷惑をお掛けしたことを、まずはお詫び申し上げます。

そのような中でも、参加した際は温かく迎え入れていただき大変ありがとうございました。本来であれば、直接お会いし気持ちをお伝えしたいのですが、本文にて感謝申し上げます。



小田原組 春光院 石川 琢道

長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。会員としての活動期間中、青年会の仲間と共に、東日本大震災のボランティア等の支援活動をしたことがもっとも印象に残っています。機動力をもった活動は、青年会員だからこそできるものでした。現役会員のみなさまのますますのご活躍を祈念申し上げます。



新入会員紹介

① 氏名(僧名)	④ 所属寺院	⑦ ニックネーム
② 生年月	⑤ 血液型	⑧ 趣味、特技
③ 加行成満	⑥ 好きな食べ物	⑨ 好きな芸能人



① 里見 善江
(さとみぜんごう)
② 昭和55年4月
③ 平成30年12月
④ 港南組 大運寺

⑤ A型
⑥ 和食
⑦ どんちゃん
⑧ 旅行、散策
⑨ 吉田羊、YOU



全淨青各事業の日程は、本誌の「令和元年度事業計画」をご参照ください。
また、七五三等については、マニフェルや解説動画などが浄土宗総合研究所のホームページにアップロードされていますので、ご覧ください。

事業は、淨青の今後の活動に資する事業として位置づけ、さらに諸先輩が築いてきた五十年のあゆみを振り返り、各事業を通じて会員相互の交流、自らの念仏信仰の糧となる契機としていただければ幸いです。
今後とも、全淨青の諸事業への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

全国浄土宗青年会は、会員相互の研鑽と親睦を図り、各教区淨青の連絡提携、また社会事業に尽くすためにさまざまな活動を行っています。

継続の事業として行っている全国大会、総合研修会、別時念佛会、同時同行念佛会に加え、本期は念仏信仰の継承に注目して仏式通過儀礼の推進と、寺院の後継者不足解消の一助を目的とした寺コン結縁事業を展開しています。とくに仏式通過儀礼では、浄土宗総合研究所が作成した「子どもの成長儀式実践マニュアル」をもとに、お寺における「七五三法要」の開催、さらには新たに提案された「智慧結び法要」の開催を推進しています。「葬式仏教」「寺離れ」が指摘される昨今、次世代への信仰の継承は重要な問題です。そのようななか、子どもが主役となる法事を開催することは、小さいちからお寺に親しんでもらうきっかけとなります。淨青会員のみなさまには、ぜひご自坊での開催を検討していただき、次代を担う檀信徒育成の一助としていただければとおもいます。

また、全淨青は昭和四十五年（一九七〇）に設立され、本年、令和元年度をもって設立五十周年という節目の年を迎えます。それにともない、記念大会、結縁念佛、インド聖地巡拝旅行、記念誌の製作などさまざまな記念事業が計画されています。これら各種記念事業が計画されています。

これで、淨青の今後の活動に資する事業として位置づけ、さらに諸先輩が築いてきた五十年のあゆみを振り返り、各事業を通じて会員相互の交流、自らの念仏信仰の糧となる契機としていただければ幸いです。

今後とも、全淨青の諸事業への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

全国浄土宗青年会 設立五十周年
報告 金淨青幹事 大橋雄人

令和元年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事 業 内 容	場 所
4月	10日(水・友引)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	16日(火・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	15日(水・友引)	詠唱勉強会	大本山光明寺
5月	22日(水・先負)	神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
6月	6日(木・友引)	第2回理事会・保険講習会	大本山光明寺
6月	18日(火・友引)	第46回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 群馬教区	草津温泉 ホテル櫻井
6月	26日(水)~27日(木)	寺庭婦人会関東地区研修会手伝い	横浜ベイホテル東急
7月	1日(木・先負)	機関紙「浄青神奈川」第45号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	4日(木・先勝)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	24日(水)~26日(金)	関東教化センター第71回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	29日(木・大安)	全浄第15回全国大会 担当:九州ブロック	ホテルニュー長崎
9月	10日(火・先勝)	関プロ別時念仏会	九品仏浄真寺
9月	11日(水・友引)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	28日(土・先勝)	寺集へてらつど~	大本山光明寺
10月	4日(金・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(月・赤口)	十夜托鉢	大本山光明寺
11月	7日(木・友引)	関プロスポーツ交流大会 担当:山梨教区	山梨県
11月	13日(水・友引)	六時礼讚勉強会・托鉢	大本山光明寺・高徳院
11月	27日(水・大安)	全淨別時念仏会	広島教区 妙慶院
11月	29日(金・先勝)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:三浦組	未定
12月	17日(火・先勝)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	横浜
1月	9日(木)~14日(火)・or16日(木)	全浄インド釈尊三大聖地巡拝の旅	インド
1月	20日(月・先勝)	関プロ別時念仏会	大本山増上寺
1月	24日(金・大安)	第7回理事会・御忌別時念仏会 兼 六時礼讚会	大本山光明寺
2月	29日(土・先勝)	家族親睦会	未定
3月	11日(水)~12日(木)	全浄50周年事業	総本山知恩院、ほか
3月	13日(金・友引)	全浄第45回 総合研修会	総本山知恩院
3月	16日(月・大安)	第8回理事会	大本山光明寺

『ねんぶつ日記』 20冊1セット 1,000円 (送料別途)

ご注文はFAX、メール、
または神浄青HP専用フォームより

FAX 0467-24-5665 (神奈川教区教務所内)
メール nenbutu.nikki@gmail.com



仏教開闢史
我の
無不
是
能
不
為
正
直
上
道
四
誓
偈



神浄青ホームページ。
www.jodo-kks.com

検索 検索



Find us on
Facebook フェイスブック

